絵本のゆりかごを卒業した子供たちに

絵本のポケット

～日本のおはなし絵本～

西宮市立図書館

はじめに

『絵本のポケット』は幼児向けの本選びに、何か手助けになるようなものがないかと考えて作成した絵本のリストです。たくさん出版されている絵本の中から、お子さんの個性や興味を考えて、絵本を選んであげて欲しいと思います。そしてこのリストが、心に響く絵本と出会うきっかけになれば幸いです。

「あがりめさがりめ」（おかあさんと子どものあそびうた）

ましませつこ／絵　こぐま社　1994年　1200円

身体を使った遊びのための『わらべうた』のうち、代表的なものを中心に紹介。遊び方だけでなく、歌詞の楽しい雰囲気が美しい絵から伝わる絵本。親子で身体をふれあわせ、声をかけあいながら遊んでほしい。

「大阪うまいもんのうた」

長谷川義史／著　佼成出版社　2009年　1300円

たこ焼き、ぎょうざにぶたまん。大阪には「うまいもん」がいっぱい。なじみのあるメロディーに合わせて、歌って踊ってみよう。絵本のすみずみまで描かれた大阪のまちも楽しい。

「おっぱい」

みやにしたつや／作・絵　鈴木出版　1990 年　1100 円

ぞうさんもぶたさんも、お母さんのおっぱい飲んで大きくなあれ。たくさん飲んで元気になあれ。ぼくはおっぱい飲んで、大きく優しく、元気になった。でも今は弟にかしてあげる。―新米のお兄ちゃん、お姉ちゃんに。

「おやすみなさいコッコさん」

片山健／さく・え　福音館書店　1988 年　900 円

夜、お月さまが「空の雲も池の水も、みんな眠っているよ」と言っても、コッコさんはこう言うだけ。「コッコはねむらないもん」。でも、少しずつ眠そうな声に。―読んでもらっている子供を、眠りへと誘ってくれる１冊。

「おんなじおんなじ」

多田ヒロシ／絵・文　こぐま社　1968 年　1000 円

ぶうとぴょんは、何でもおんなじ。ぼうしもおんなじ、おもちゃもおんなじ。ごっつんこして、たんこぶもおんなじ。ぶうもさかだち、ぴょんもさかだち。でも、ポケットからころがりでたものは…？

「かばくん」

岸田衿子／さく　中谷千代子／え　福音館書店　1966 年　900 円

動物園に朝が来た。かばの親子が過ごすのは、どんな１日かな？―絵本いっぱいに描かれたかばくんは、とても表情豊か。リズミカルな文章と合わさり、のんびりした気分を味わえる。50 年以上前から読まれている絵本。

「きょだいなきょだいな」

長谷川摂子／作　降矢なな／絵　福音館書店　1994 年　900 円

広い野原にあったのは、巨大なピアノや巨大な石鹸。100 人の子供たちは、ピアノの上で鬼ごっこしたり、石鹸の山をすべったり。誰もがしてみたくなるような愉快な場面が、テンポの良い文章とともに次々と現れる。

「ぐりとぐら」

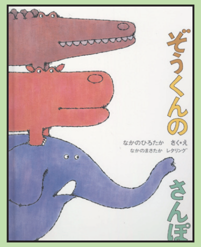
なかがわりえこ／さく　おおむらゆりこ／え　福音館書店　1967 年 900 円

大きなたまごを見つけた野ネズミのぐりとぐらは、かすてらを作ることにした。砂糖を入れてかきまぜて、牛乳・小麦粉、おなべにはバター。かまどで焼き始めると、鼻をひくひくさせながら、森の動物たちが集まってきた。

「ぞうくんのさんぽ」

なかのひろたか／さく・え　なかのまさたか／レタリング

福音館書店　1977 年　900 円



ぞうくんは散歩する。背中にかばくんを乗せて、わにくんを乗せて。その上にかめくんも乗せて…。くり返しの楽しさと、どんどん背中に乗せていく動物たちが、落ちるかも！と、はらはらしながら読んでしまう。

ここで紹介した絵本は、西宮市立図書館・分室で所蔵しています。

＜西宮市立図書館・分室＞中央図書館 TEL :0798-33-0189　北部図書館 TEL:0797-61-1706　鳴尾図書館 TEL:0798-4５-5003　北口図書館 TEL:0798-69-3151　甲東園分室　TEL :0798-54-3600　越木岩分室　TEL :0798-73-7341　段上分室 TEL:0798-53-0932　上ヶ原分室　TEL:0798-72-7388　高須分室　TEL:0798-49-1777　山口分室　TEL:078-904-3961　若竹分室　TEL:0798-67-5505

※価格は 2016 年 10 月現在の税抜き価格です。　2017.1

「ぞうのボタン」

うえののりこ／さく　冨山房　1975 年　900 円

ぞうのお腹になぜかボタンが４つ。その中から出てきた馬のお腹にも、やっぱりボタンが…。さて、最後はどうなる？―抜け殻になった動物たちのよれよれな姿も楽しい、モノクロの絵で表現された字のない絵本。

「そらいろのたね」

なかがわりえこ／文　おおむらゆりこ／絵　福音館書店　1967 年 900 円

ゆうじは大切な模型飛行機を、きつねの持っていたそらいろのたねと取り替えた。そのたねを庭に埋めて水をかけた。翌朝、なんと土の中から、豆ぐらいのそらいろの家が出てきた。水をやると、家は少しずつ大きくなり…。

「そら　はだかんぼ！」

五味太郎／作　偕成社　1979 年　1000 円

「ライオンくん！おふろですよ。はだかんぼになりなさい」。でも、ライオンって、はじめから服なんて着ていないのに、はだかんぼになるってどういうこと？―次はどうなるのかと展開を楽しめる絵本。

「そらまめくんのベッド」

なかやみわ／さく・え　福音館書店　1999 年　900 円

そらまめくんの宝物はベッド。えだまめくんにもグリーンピースたちにも、さやえんどうさんにも、ピーナッツくんにも使わせようとしない。ところがある日「あっ！ベッドがない！」そらまめくんは大あわて。

「たまごにいちゃん」

あきやまただし／作・絵　鈴木出版　2001 年　1200 円

たまごにいちゃんは、弟が先にひよこになってもまるで平気。だって、たまごでいると、羊の毛の中にもぐったり、水にプカプカ浮かんだり、たくさん楽しい事ができる。ところがある日、カラスに追いかけられて…？

「ちいさなねこ」

石井桃子／作　横内襄／絵　福音館書店　1967 年　900 円

こねこが家の中から外へとび出した。外には自動車や犬など、危険なものが待ちうけている。こねこは無事お母さんのもとへもどれるかな。―常に外へ、広い世界へとむかう子供の姿を、こねこに重ね合わせて表現した絵本。

「ちいちゃんのさんぽ」（ちいちゃんシリーズ）

しみずみちを／作　ほるぷ出版　1983 年　900 円

ちいちゃんは、ぴよぴよサンダルをはいてお散歩♪ららら　るるるん　ぴいぴいぴい…―ちいさな女の子の日常生活を、子供の目線で描くシリーズ。「ちいちゃんときのぼり」「ちいちゃんのまめまき」など全 12 巻。

「でんしゃでいこうでんしゃでかえろう」

間瀬なおかた／絵・文 ひさかたチャイルド 2002 年 1000 円

デデン　ドドン　デデン　ドドン…「やまのえき」から「うみのえき」への電車の旅。しかけ穴のあいたトンネルを抜けるたびに、山の村や鉄橋など景色が次々変化する。後ろからも読める構成で、終点まで着いたら今度はまた折り返しの旅が楽しめる。

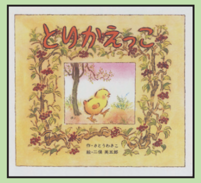
「でんしゃにのって」

とよたかずひこ／作　アリス館　1997 年　1300 円

うららちゃんはひとりで電車に乗って、おばあちゃんの家へ出かけた。途中、『わにだ』駅ではワニが、『くまだ』駅ではクマが…次々に乗ってきて電車は満員になる。―1 人で出かける女の子のどきどきした様子が伝わる。

「とりかえっこ」

さとうわきこ／作 二俣英五郎／絵 ポプラ社 1978 年 1200 円



「ぴよぴよ」と森に出かけたひよこは、ねずみの鳴き声ととりかえっこ「ちゅうちゅう」。次はぶたととりかえて「ぶうぶう」。かえる、いぬ、ねこと次々に鳴き声をとりかえて…。鳴き声を予想して読んでほしい。

「とんとんとめてくださいな」

こいでたん／文 こいでやすこ／絵 福音館書店 1992 年 900 円

森で道に迷った３匹のねずみは、一軒の家にたどり着いた。誰もいないけど泊めてもらおうと、ベッドにもぐりこむと「とんとん、とめてくださいな」と、次々に動物がやってくる。―動物たちの表情がかわいい絵本。

「ねえ どっちがすき？」

安江リエ／文 降矢奈々／絵 福音館書店 2003 年 900 円

目玉焼きと玉子焼き、風と雨、ぶらんことすべりだい…。あなたは、どっちが好きかしら？「お母さんはね…」「お父さんはな…」と、みんなでどっちが好きかを言いあいながら、楽しめる参加型絵本。

「ねずみくんのチョッキ」

なかえよしを／作 上野紀子／絵 ポプラ社 1974 年 1000 円

小さなねずみくんが、赤いチョッキを着て得意そうに立っていると、「いいチョッキだね、ちょっときせてよ」とアヒルがやってきてチョッキを着た。その次はサル、次はアシカ…。大きな動物のユーモラスな姿が愉快な絵本。

「はけたよはけたよ」

かんざわとしこ／ぶん にしまきかやこ／え　偕成社 1970 年 1000 円

「えい、パンツなんかはかないや」ひとりではけないたつくんは、パンツをはかずに外へかけだした。そして、いろんな動物におしりを見られて笑われて、しりもちついて泥だらけ。―みんなは上手にはけるかな？

「ふしぎなナイフ」

中村牧江・林健造／さく 福田隆義／え 福音館書店　1997 年 900 円

ふしぎなナイフがぐにゃりと「まがる」。あめのように「ねじれる」。ふたつに「おれる」。ガラスのように「われる」。そして、「のびて」「ちぢんで」風船みたいに「ふくらんで」…。１本のナイフで表現する不思議な世界。

「ふんふんなんだかいいにおい」

にしまきかやこ／えとぶん　こぐま社　1977 年　1200 円

おおいそぎで朝ごはんを食べたさっちゃん。口のまわりは、たまごの黄身でくわんくわん。手のひらは、いちごジャムでべたべた。エプロンはとりのスープでしみだらけ。そのまま野原にでかけたから、さあ大変！！

「へびくんのおさんぽ」

いとうひろし／作・絵　鈴木出版　1992 年　1100 円

へびくんが散歩していると、大きな水たまり。へびくん、体をのばして渡ろうとしたら橋みたいになった。すると「背中を渡らせて」と、ありやねずみが渡っていった。次にドスドスと大きな足音がして…。がんばれ、へびくん。

「ぼくのくれよん」

長新太／絵・文　講談社　1993 年　1400 円

大きな大きなクレヨンで、ぞうがお絵描きをはじめたよ。青色で描いたら、カエルが池とまちがえてとびこんじゃった。黄色で描いたら、バナナとまちがえて…。力強く描かれた原色の絵で、ストーリーが展開する。

「ぽとんぽとんはなんのおと」

神沢利子／さく 平山英三／え 福音館書店 1985 年 800 円

雪の降り積もる山の穴の中で、母熊は２匹の子熊を産み落とす。子熊のぼうやは、ある日、母熊にこうたずねる。「かあさん、あれはなんの音？」―冬ごもりをしている熊の親子と一緒に、春の訪れが待ち遠しくなる絵本。

「ママ、あててみて！」

すえよしあきこ／ぶん はやしあきこ／え 偕成社 1976 年 1000 円

「ママ！わたしに『あそびましょ』って来たの。だれだかわかる？あかいいろで、まるくて、おおきいもの」。みこちゃんと遊ぶのは…。ページをめくるたびに、あったかい気持ちに なって、最後にはポカポカに。

「めのまどあけろ」

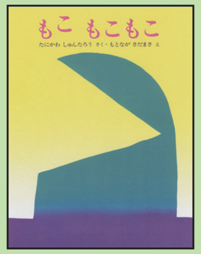
谷川俊太郎／ぶん 長新太／え 福音館書店 1984 年 900 円

小さな子供の、朝起きてから夜眠るまでを、ことば遊びのような詩と、カラフルな絵で表現した１冊。軽快な語感のリズミカルな文章は、声に出して読むと、とても心地良い。

「もこもこもこ」

たにかわしゅんたろう／さく もとながさだまさ／え

文研出版　1977 年　1300 円



しーんと静まりかえった紫の大地が「もこ」ともりあがり、その横が「にょき」と出てきて、大きくなったもこはにょきを食べ、実のようなものを「つん」とだす。―言葉の響きと明るく抽象的な絵が創り出す、力強い絵本。

「もりのおふろ」

西村敏雄／さく　福音館書店　2008 年　900 円

もりのおくのおふろ。最初にきたのはライオン。ごしごし、しゅっしゅっと体を洗う。次にきたのはゾウ。ライオンの背中を洗ってあげる。次々に動物がやってきて順番に背中をごしごし、しゅっしゅっ。くり返しと言葉のリズムが楽しい絵本。

共に学び・考え・行動する消費者市民社会の実現をめざして

西宮市では、
自分で考え、行動できる消費者の
育成を目指し、消費者教育を推進します。

●契約は慎重に！！おかしいなと思ったら、ご相談ください●

西宮市消費生活センター【相談専用】TEL 0798−64−0999
または　消費者ホットライン　188（いやや）

子ども安全メール　from 消費者庁
子どもの事故に関する情報や豆知識をあなたの携帯電話に配信します！
登録はコチラ⇒
消費者庁携帯サイト
QR コード